

事業コード	R元ー建ー継ー05			区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)			部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)			班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	(主) 大曲大森羽後線			担当課長名	道路課長 佐藤 秀治
箇所名	雄勝郡羽後町安良町			担当者名	副主幹(兼) 班長 渡部 寿
総合計画との関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略	
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進	
	指標コード	04	施策目標(指標)名	生活道路の機能強化	

1. 事業の概要

事業期間	H 2 5 ～ R 6 （ 1 2 年）		総事業費	19.9 億円	国庫補助率	59.50
事業規模	○延長L=2,840m、幅員W=6.0(8.5, 11.0)m (1.25+3.0+3.0+1.25(+2.5))m ※一部歩道有り					
事業の立案 に至る背景	○主要地方道大曲大森羽後線は大仙市から羽後町に至る県南地域の主要な県道であり、通勤、通学、通院等の日常生活を支える重要な路線である。しかしながら、幅員狭小（Wmin=4.0）で急カーブ（Rmin=20m）が連続しており、死亡事故を含む交通事故が発生している。また、当該区域は通学路にも指定されているが、多くの区間で歩道が未整備であり、歩行者は車道を歩かざるを得ず、堆雪により、車道幅員が減少する冬期においては特に危険な状況となっている。 ○生活道路として利用する地域住民の安全確保のため、早急に整備を行う必要がある。					
事業目的	○大型車のすれ違い困難箇所の解消 ○バイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ○通過交通の分離により、通学路指定となっている現道の歩行者の安全性確保					
事業内容 (単位:千円)			計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等
	事業経費	事業費	1,208,000	1,988,000	780,000	
		工事費	768,000	1,191,418	423,418	土質改良費の増
		用補費	340,000	550,280	210,280	建物補償の増による
		その他	100,000	246,302	146,302	事業認定資料作成業務委託の増
	財源	国庫補助	790,636	1,182,860	392,224	
		県債	375,600	724,600	349,000	
		その他				
		一般財源	41,764	80,540	38,776	
	事業内容		調査・設計 改良工 舗装工	調査・設計 改良工 舗装工		国庫補助率の変更による
事業の進捗 状況	○平成30年度末で事業進捗率58%（用地進捗率は78%）。					
事業推進上 の課題	○特になし					
関連する計 画等	○羽後町総合発展計画					
情勢の変化 及び長期継 続の理由	○道の駅うご「端縫いの郷」					
事業効果把 握の手法及 び効果	指 標 名		県管理道路改良率			
	指 標 式		整備率（整備済み延長／路線実延長）			
	指標の種類		○ 成果指標 ● 業績指標		低減指標の有無	○ 有 ● 無
	目 標 値 a		78.9 %		データ等の出典	道路課調べ
	実 績 値 b		79.0 %			
	達成率 b／a		100.1 %		把握の時期	平成31年 4月

前回評価結果等	☒ 選定または継続 ☐ 改善 ☐ 見直し ☐ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	○当該区間は幅員狭小（車道幅員 4.0 m）及び線形不良（最小曲線半径 20 m）で、事故が多発している。また、冬期堆雪帯がなく、1 年を通じた交通の安全確保が望まれる。 ○通学路指定区間であるが、歩道が未整備の区間があり、車道を歩かざるを得ない。 ○平成 21 年度には死亡事故が発生している。	15 点
緊 急 性	○カーブ区間、急勾配区間が連続し、見通しも悪いため、交通事故が発生しており、危険な状況となっている。	10 点
有 効 性	○羽後町地域防災計画に位置付けられた避難所が本路線の沿線に存在しており、災害時の避難路として活用が見込まれる。また、救急医療施設である町立羽後病院へのアクセス道路としても利用され、防災上重要な路線である。	30 点
効 率 性	○事業の費用便益比は 1.27 であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 28.3 億円 ・総費用の現在価値 22.4 億円 ○大規模バイパスであり事業中止による影響は大きい。	18 点
熟 度	○平成 30 年度末の事業進捗率は 58 % である。	16 点
判 定	ランク（ ☒ Ⅰ ☐ Ⅱ ☐ Ⅲ）	89 点
	必要性、有効性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総 合 評 価	☒ 継続 ☐ 改善して継続 ☐ 見直し ☐ 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価

適用基準名 道路改築事業（地域内・生活圏交通促進）

事業コード（ R元ー建ー継ー05 ）

箇所名（ 雄勝郡羽後町安良町 ）

1. 評価内訳

観 点	評価項目 細別	評価基準	配 点	評価点	摘 要
必要性	道路の現状の問題				
	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員＜5.5m ・最小半径＜100m ・最急勾配＞4% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	8	8	・車道幅員4.0m ・最小半径20m ・冬期堆雪巾なし 3箇所
		2箇所	5		
		1箇所	3		
		該当箇所なし	0		
	道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度≧1.0又は走行速度≦30km/h ・現道の事故率≧50件又は重大交通事故が発生 ・通学路指定で歩道なし又はバス路線で歩道なし	3項目該当	7	7	・旅行速度30km/h以下 ・通学路指定歩道なし ・重大事故（H21死亡事故） 3項目
		2項目該当	5		
		1項目該当	3		
		該当項目なし	0		
	計			15	15
緊急性	道路をとりまく環境等				
	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あ り	5	5	羽後町総合発展計画
		な し	0		
	緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保 冬期通行不能区間等	あ り	5	0	
		な し	0		
	同一路線の整備状況	整備済み	5	5	
		未整備	0		
計			15	10	
有効性	道路の位置づけ				
	地域コミュニティの確保 （公共交通、公共施設・交流施設など）	該当する	7	7	羽後明成小学校
		該当しない	0		
	救急医療施設へのアクセス	アクセス性向上に大きく貢献	8	8	町立羽後病院
		アクセス性向上に貢献	6		
		アクセス性向上への貢献が小さい	4		
	地域防災計画に重要な道路	該当する	7	7	羽後町地域防災計画に沿線 避難所位置づけ
		該当しない	0		
	社会変化による事業の必要性	必要性が高い	8	8	道の駅うご
		必要性に変化はない	6		
必要性が低い		4			
必要性が著しく低下		0			
計			30	30	
効率性	事業の投資効果等				
	費用便益比（B／C）	1.0以上	5	5	1.27
		1.0未満	0		
	計画交通量	5,000台/日以上	5	3	2,900台／日
		1,000台/日以上～5,000台/日未満	3		
		1,000台/日未満	0		
	コスト削減	あ り	5	5	他工区発生の仮設鋼材を流 用
		な し	0		
	事業中止による影響	既投資額の損失大	5	5	大規模バイパス
		既投資額の部分的損失	4		
既投資額の損失が少ない		3			
計			20	18	
熟 度	事業の進捗状況				
	事業の進捗（事業費）	8割以上完了	10	8	58%
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
	用地買収の進捗（面積）	8割以上完了	10	8	78%
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
		1割未満	2		
		未着手	0		
計			20	16	
合 計			100	89	

2. 判 定

ランク	判定内容	配 点	判定	摘 要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上～80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		